

高等学校「家庭科」改訂のポイント

- 必修科目：「家庭基礎」、「家庭総合」、「生活デザイン」のうちから1科目
- 科目構成：科目「生活技術」の内容を改編し、「生活デザイン」を新設
- 主な改善事項
 - ・ 衣食住や消費生活などに関する知識・技術を身に付けさせ、生涯の生活設計ができるようにすることを重視
 - ・ 消費者教育や環境教育及び食育の推進，子育て理解や高齢者の理解などの少子高齢化への対応に関する指導を充実
 - ・ 衣食住の文化の継承にかかわる内容を充実

(1) 科目構成

改 訂 案			現 行		
科 目	標準 単位数	必修科目	科 目	標準 単位数	必修科目
家庭基礎	2	}	家庭基礎	2	}
家庭総合	4	}	家庭総合	4	}
生活デザイン	4	○	生活技術	4	○

(2) 各科目の改善事項

【家庭基礎】

- 青年期の自立と共生という視点から，家庭・家族，福祉，衣食住，消費生活にかかわる基礎的・基本的な知識と技術を習得させ，環境に配慮したライフスタイルとのかかわりを深める学習を重視

【家庭総合】

- 生涯を見通した生活を営むために必要な家族・家庭，子どもや高齢者とのかかわりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ，持続可能な社会を目指したライフスタイルの確立に関する学習を重視
- 例えば，生活設計の立案を通して，生涯を見通した自己の生活について主体的に考えることを重視

【生活デザイン】

- 実験・実習等の体験を特に重視し，衣食住の生活文化に関心をもたせるとともに，生涯を通して健康と環境に配慮した生活を主体的に営むことができるようにすることを重視
- 例えば，栄養とおいしさ考えた食べ物や食事を作るために必要な知識と技術を習得させることや食文化を継承し食生活を創造的に実践する学習を重視

(3) 言語活動の充実

- 子どもや高齢者，地域の人々などと触れ合い，他者とかかわる力を高める活動の重視
- 衣食住などの生活における様々な事象を言葉や概念などを用いて考察する活動，判断が必要な場面を設けて理由や根拠を論述したり最適な解決方法を探究したりする活動などの重視

(4) 活用の重視

- 自分の生活に関連付けて学習できるように，問題解決的な学習を充実
(ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動の趣旨を明記)